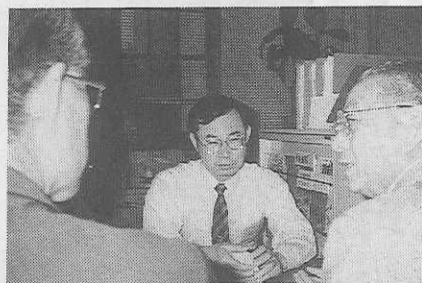


# 修学旅行新聞

発行所 財団法人協会  
全国修学旅行研究  
会 前田 寛  
〒101 東京都千代田区  
西神田2-3-7 (福ビル)  
☎03(3262) 2426・2932  
振替 (東京) 6-36337

修学旅行は、学習を社会に移したもので、生活指導及び集団訓練の好機会である。教育計画の一環として行われ、教育上極めて重要な行事である。従って修学旅行を安全かつ有効に実施するための企画及び運営を科学的に調査研究して、常にその改善に努力し、教育効果の充実に努める事は必要であり教育界に課せられた責務でもある。  
(財団法人 全国修学旅行研究協会の趣意書から)

## 平成4年度修学旅行費等の 国庫補助金増額を



文部省佐々木財務課長 (中央) に陳情  
財団法人全国修学旅行研究協会(山本種一理事長)と、  
関東・東海・近畿三地区公立  
中学校修学旅行連合委員会  
(大島直樹会長・前名古屋市長  
立富士中学校校長)の代表は、  
六月二十四日文部省を訪れ、  
平成四年度の要保護・進要保  
護家庭並びにへき地校の児童  
生徒の修学旅行費、校外活動  
費に関する国庫補助金の増額  
について、例年どおり陳情を

### 6月24日、全修協・三地区 修旅連が文部省へ陳情

当日は、全修協から前田寛理事長・事務局長、中島和友事務局長、福原徳丸修学旅行部主幹、三地区修旅連を代表して関東地区公立中学校修学旅行委員会井桁孝会長(習志野市立第一中学校校長、布目雅之運営委員長・越谷市立立間中学校校長)の五名が、井上裕文文部大臣あての陳情書を持参した。文部省側は教育助成局長佐々木正峰財務課長、倉持光雄同課課長が対面し、概算要求の増額に明るい見通しが感じられた。

### 関東・東海・近畿 三地区中修学旅行連合委員会総会開く -7月9日-



井桁 孝 新会長

### 会長に井桁氏、副会長に 中嶋、高橋両氏を選出

関東・東海・近畿三地区公立中学校修学旅行連合委員会(三地区修旅連)大島直樹会長・前名古屋市長立富士中学校校長は、七月九日神奈川県箱根町において総会を開催し、本年度の役員を選出、事業計画等を決定した。

高橋喜吉副会長(彦根市立東中学校校長)が閉会のあいさつを述べ、十六時三十分総会を終了した。

本年度の役員は次のとおり(各中学校長、敬称略)。  
会長 井桁孝(千葉・習志野第一)  
副会長 中嶋春雄(愛知・安城北高橋喜吉(滋賀・彦根東)顧問 山本種一(財全修協) 参与 前田寛(財全修協) 運営委員 関東 東海 近畿 北高橋喜吉(滋賀・彦根東) 顧問 山本種一(財全修協) 参与 前田寛(財全修協) 田代弘(岐阜・陽明) 近畿 土居克己(兵庫・大社) 全修協 大友恭

### 時言 実地調査は綿密に

編集委員 北條 直樹

間もなく夏休みが来る。旅館にとつてはハイ・シーズンであり必ずしも好適期とはいえないが、実態としては来年度に向けて修学旅行の実地調査が行われるシーズンでもある。

全修協は、創立以来、修学旅行の基本は、安全性の確保、教育性の高揚、経済性の適正の三原則を常に主張してきた。修学旅行の実地調査は、最も基本的なことは安全性の確認である。しかし現在行われている実地調査は、要件を満たしているかどうか、関東・東海・近畿三地区公立中学校修旅連による安全対策実地調査のまとめによる、特に念入りに調査したとされる「宿舎関係」をこまめに63%の学校に過ぎない。こうした事実からも、この際、改めて再点検が必要があるのではないか。

実地調査を行った二名の教諭が、翌年の修学旅行実施時にはいずれも転動して

いたという話を聞いたことがある。極端な事例であろうが、それ程でなくとも、漫然と安易に取り組まれているとすれば、不測の事態を招くおそれはない。

修学旅行の実地調査は、明らかによりよい修学旅行を目指して行うものである。そのためには、第一に学校独自の詳細なチェックカードを用意し、それによる点検をする必要がある。

学校が独自で内容を検討し、チェック項目を作ることは、修学旅行の実地調査が個人の視野で行うものではないことを意味する。実地調査に行く教諭は、学校という組織の代表としての見聞をもつていなければならない。

旅行者の中には、旅館におけるチェック項目をあらかじめ作成しているものもある。しかし、教育のプロである教師からみると、違った観点から加える必要である。

何をチェックせよというのか。例えば京都の寺社を班別自主活動させて何を学ばせるのか。阿蘇山に行つて何を体験さ

せるのか。平生の学習との関わりをどう考えるのか。見学地の価値はあるかなど、調査事項は多い。重点的な時間のかけても、学校の主体性によって変わってくるはずである。パンフレットや案内書では分からない点まで見てみるのが実地調査の必要理由である。

まして、最近の施設設備の状況の変化は著しいものがある。昨年行ったから知つておいて決めたものは危険である。該当府県の観光課等に、実地調査後の新しい情報を知らせる手はずをあらかじめ整えておくことも必要である。

第三に大切なことは、帰校後の事後報告と検討会の在り方である。行き放しなして個人の旅行と何ら変わらぬ。組織を代表して行ったのだから、組織に還元してこそ実地調査は生きてくる。それらは事前指導の綿密さに現れ、実際の修学旅行を意義あるものとし、生涯にわたって充実した思い出をつくる大きな役割を担うものとなる。

修学旅行自体の成否は、実地調査の中身の如何によるとも言い過ぎではない。

大島前会長が退任のあいさつ

特別地方消費税の  
免税点が七月から改定  
宿泊及び飲食した者に対し  
て、消費税の他に更に3%課  
税される「特別地方消費税」

「夏が来れば  
思い出す。ほろ  
かな尾瀬」に  
今年もミスパン  
ヨウの花が咲い  
て、木道を歩く人々の列が  
続いた。上州側は清水と  
鳩待峠まで、会津側は沼山  
峠までバスが入るので、こ  
れから夏休みにかけて更に  
入山者が増加し、自然を守  
るための努力が課題となる。  
▼六月、水無月(みなづき)。  
下界はサツキ、ハナショウ  
ブ、アジサイと美しい花が  
次々に我々の目を惹きませ  
たが、島原の水無川は土石  
流、火砕流で大自然との戦  
いが続く。「自然と人間の  
共生」は、昨年の大阪、花と  
緑の万博のテーマだった  
が、自然を守り、自然を愛  
するこゝに加え、自然災害  
にどう対処するかも、重要  
な課題である。▼六月中旬の  
夕暮、西の空に三日月と火  
星、木星、金星が集まって  
美しく輝いていた。今世紀  
最後のシーンというが、雲  
仙・普賢岳や今世紀最大と  
いわれるフィリピン・ピチ  
ツボ火山の噴火と、因果関  
係はなかったのだろうか。▼  
松島や鎌倉では野生のタヌ  
キが急に姿を見せなくなっ  
たり、奄美大島ではハブの  
天敵として移入したマンダ  
リノスが繁殖し過ぎて困つ  
ていることが報じられた。自  
然界の節理には、人間に理  
解できない場面が多い。  
▼東京の町も、一昔前に比  
べたら自然は大いによみが  
えって来た。緑は濃くなり、  
海や川の水もきれいになつ  
た。自主見学の修学旅行生  
でにぎわう原宿も、表参道  
のテヤキ並木や明治神宮  
代々木公園の緑は、大都会  
に在るのを忘れさせる。▼  
よいよ夏休み。自然に親し  
むために、まず自然保護の  
心を大切にしたい。(甲)

信頼される旅づくり

修学旅行は、プランニングから実施まで、安全で意義深いものでなければなりません。近畿日本ツーリストでは、修学旅行に必要な事項をキメ細かく網羅した全国地域別「企画書シリーズ」を作成し、ご活用いただいております。さらに、北海道から沖縄まで、修学旅行・ビデオテープ「学習の旅シリーズ」もご用意。学校の教育方針に沿いながら、生徒ひとりひとりの心に輝く思い出づくりのため、国内・海外のネットワークを駆使して、細心の努力をいたします。

# ツリストの修学旅行。

近畿日本ツリスト

本社 〒101 東京都千代田区神田松永町19-2  
支店/国内250店(登録)/海外15店 ◎運輸大臣登録一般旅行業第20号

